



2020年1月31日

各位

慶應義塾大学全塾協議会

應援指導部の処分に関して

全塾協議会は、2020年1月31日に開催された全塾協議会臨時会にて、應援指導部に対する処分を決定しました。内容は以下の通りです。

【処分決定までの流れ】



【処分】

1. リーダー部は、解散とする。
2. 旧リーダー部の全ての構成員は、今後の應援指導部の以下の活動に一切関わらない。
 - 一 応援活動
 - 二 練習
 - 三 合宿を含む宿泊活動
3. 吹奏楽団とチアリーディング部を含めた應援指導部内の全ての組織は、旧リーダー部の組織と関係を絶ち、それぞれの組織を刷新して今後の活動を行う。
應援指導部内の全ての組織に対して、旧リーダー部の組織又はそれが蘇ったものと全塾協議会によって見なされた組織と今後関わった場合、全塾協議会は解散も選択肢とする厳正な処分を行う。
4. 全塾協議会は、旧リーダー部の構成員の2項で定める活動への参加を部分的又は全面的に認めた場合、2項を部分的又は全面的に破棄できる。
5. 應援指導部は、2020年3月31日まで活動停止とする。
6. 全塾協議会は、應援指導部から提出された組織の再建案を元に、2020年6月30日まで活動停止期間を延長するか判断する。
7. 應援指導部の2020年度交付金交付額は、3,805,000円から、固定費等の分の855,000円に減額する。

【処分案の説明】

本件は、直接的には一部の現役部員が引き起こした問題であるが、部内の問題の報告体制などの部の組織にも重大な問題があることが明らかである。また、特別監査人の調査結果から、部内の意思統一も図れていないと思われ、時間をかけて細かい問題点を見つけ、再建案を練る必要がある。この再建案は、形だけのものや、目には見えないものだけであってはならず、塾生からも広く十分に納得がいくものでなければならない。

以下が、処分案の各項目の説明である。

1. 問題を起こした構成員が所属していたリーダー部は、個人の問題だけではなく、問題の報告体制にも問題があり、組織の問題は大学の調査委員会にも指摘がなされている。部内での措置も鑑み、リーダー部を解散とする。
2. 應援指導部は問題を起こした構成員を特定して退部の部内措置を行っているが、部内措置の対象者に関する情報を公開することは、大学からの被害者のプライバシー保護に配慮した教育的指導があったために、應援指導部から行うことに限界があった。これらを踏まえた上で、問題の報告などに関わる風土や、リーダー部に対する厳しい視線を考慮すると、期限を設けずにリーダー部の構成員の活動を制限するべきである。
3. 第1項と第2項の内容に鑑み、吹奏楽団とチアリーディング部の活動の健全性を広く明らかにするためにリーダー部の復活に関して制限する。このため、今後の應援指導部の活動のためにも、應援指導部内の吹奏楽団やチアリーディング部などの全ての組織は、組織として、旧リーダー部の組織と分離したものであることを明確にする必要がある。
4. 第2項により、リーダー部の構成員の活動は期限を設けずに制限する。しかし、今後の應援指導部の状態に応じて、リーダー部の構成員の活動の制限を部分的又は全面的に解除できるようにする。
5. 既に應援指導部は活動自粛状態にあるが、部内での問題の洗い出しや部内での再建案の検討の議論はまだ深く行われていない。部内の意思決定方法の見直しや部内の意思統一を図るために、長い時間が必要である。しかし、今後の應援指導部の活動持続性を鑑み、新歓活動を可能とする、3月31日までの活動停止とする。活動停止は、練習も含む全ての活動を禁止するものであるが、再建へ向けた部内の話し合いとそれに関わる事務作業は例外として認める。無論、活動停止期間終了まで、活動停止終了を見越した練習等も認めない。
6. 應援指導部の詳細な再建案は、部内の細かい事情を知る部員で広く協議されるべきである。3月31日までに全塾協議会に應援指導部によって提出された部内の問題点のまとめを含む部の再建案に基づき、6月30日まで活動停止期間を延長するか判断する。検討する活動停止延長期間を約3か月とするのは、組織再建が十分でない判断した場合、野球の慶早戦に組織再建が十分でない應援指導部を参加させることは

好ましくないため、野球の慶早戦等の試合時期に鑑みたものである。

7. 應援指導部から提出された予算執行計画説明書に基づき、今後の活動のためにどうしても必要な固定費等の額に鑑み、2019年交付金交付額を855,000円に減額する。

以下、算出方法。

器材車維持費・固定費 ¥610,000+駐車場 ¥96,000/2+レンタカー ¥384,000/2+振込手数料 ¥5,000=¥855,000

全塾協議会御中		作成日：2019年11月12日	
慶應義塾大学應援指導部			
2019年度交付額に基づく予算執行計画説明書			
団体名	應援指導部	2019年度交付額	¥3,805,000
予算執行計画			
支出用途（品目）	支出内容内訳	金額	内容説明
器材費	塾旗関連	¥200,000	塾旗の修繕
	応援器材	¥80,000	慶早戦をはじめ、諸体育会応援のための応援器材(選手紹介用ボードや、ポスター類、横断幕等の作成にまつわる器材費)
	衣装関係	¥15,000	慶早戦時衣装の維持費
塾対費	メガホン	¥1,200,000	無料配布紙メガホン作成代
	塾生動員企画	¥285,000	体育会の試合の塾生動員のための諸企画費
慶早戦費	デコレーション看板	¥570,000	毎年秋季慶早戦時スタンド内に設置するデコレーション看板の作成費用
印刷費	印刷関連費	¥5,000	慶早戦関連の書類資料の印刷費用(用紙代、プリント代)
通信費	郵送代	¥5,000	慶早戦関連の書類資料送付費用
交通運搬費	器材車維持費・固定費	¥610,000	月極駐車場代、保険、車検代
	駐車場	¥96,000	体育会応援時の器材車駐車場代
	レンタカー	¥384,000	体育会応援時のレンタカー代
雑費	振込手数料	¥5,000	振込手数料
繰越金	積立	¥350,000	神宮球場応援用のメイン台買替費用

以上